

法人向けEV導入サポート EnneEVのご提案

実績豊富な電力会社ならではの提案でお客様のEV導入をフルサポート



会社概要	2
背景（脱炭素推進・EV導入の流れ）	3
EVは本当に環境に優しい？LCAの観点から解説	4
EV導入時によくあるお悩み	5
EV導入の悩みを解決するための最適なサポート	6
法人向けEV導入お任せサポート	7
特長01：コストミニマムな設備設計を提案 設置工事の発注まで含めて全てサポート	8
特長02：スマート充電で電気料金や設備コストを抑制 法人向けに最適化・無駄を省いたシステム構成	9
特長03：最適な電気料金や再エネ電気を提供 導入効果の分析や改善を支援	10
特長04：豊富な実績に基づいた安定運用 お客様側での登録業務や設定作業は全て不要	11
事例紹介	12
導入までのながれ	13
よくある質問	14
お問い合わせ	15

社名	株式会社エネット（英文名：ENNET Corporation）
設立	2000（平成12）年7月7日
資本金	107億円
売上高	2,492億円（2023年度実績）
株主	NTTアノードエナジー株式会社 東京ガス株式会社 大阪ガス株式会社
代表取締役社長	谷口 裕昭
取締役	小鶴 慎吾 斎藤 祐樹 池田 克巳 田中 亮人 河江 洋臣 鈴木 直行 山本 智美 中窪 和弘
監査役	池田 清之 岡田 哲郎 栗山 亮
所在地	本社・東日本本部：東京都港区芝公園二丁目6番3号 芝公園フロントタワー 西日本本部：大阪府大阪市西区土佐堀一丁目4番14号 アーバンエース肥後橋ビル
電話番号	03-5733-2233
事業内容	小売電気事業・省エネルギーに関するコンサルティング
登録小売	電気事業者番号A0009※経済産業省 小売電気事業者一覧
適格請求書	発行事業者登録番号

エネットは、
お客さまが自由に電力会社を選べる
社会づくりを進めています。



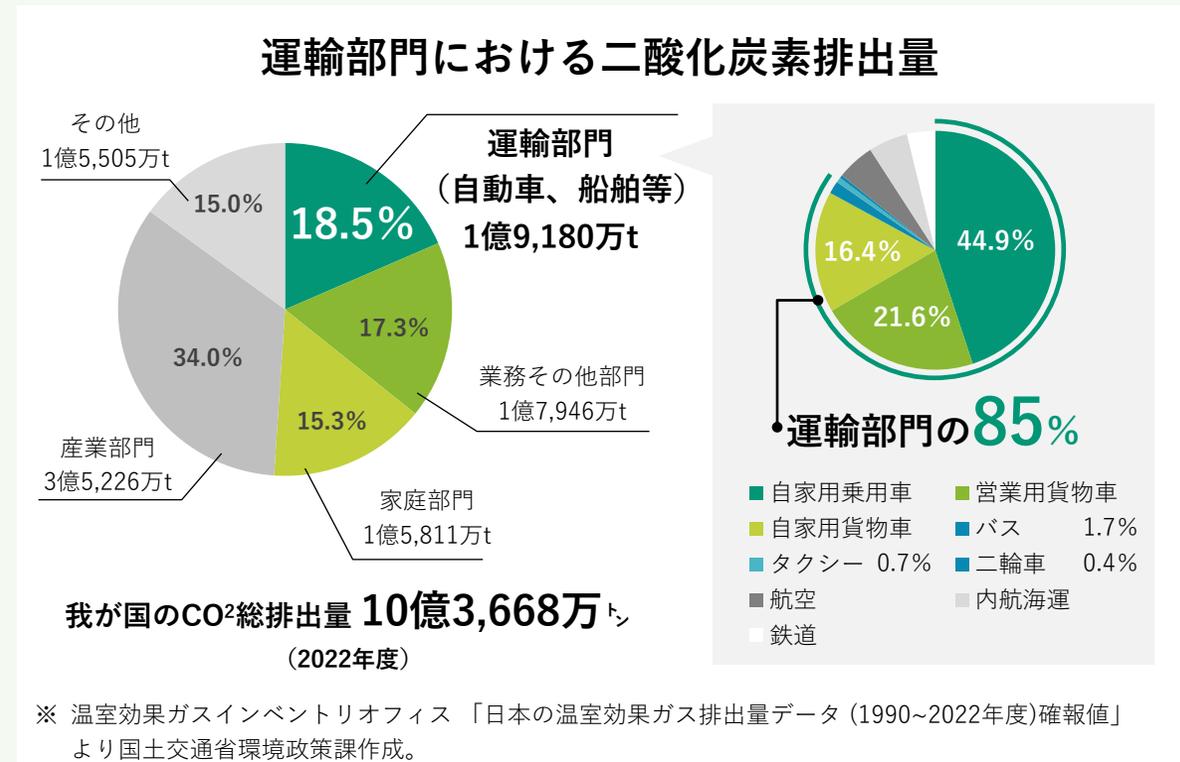
背景（脱炭素推進・EV導入の流れ）

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、企業の脱炭素化は避けて通れない課題となっています。
特に運輸部門は、日本のCO2排出量の約18.5%を占め、そのうち自動車が約85.8%を占めるとされています（国土交通省）。
このため、複数の車両を保有・運用する企業にとって電気自動車（EV）への切り替えは、効果的な脱炭素化手段となります。

EV導入で脱炭素化を加速し、持続可能な経営へ

	2030年目標（NDC）	2050年目標
日本	▲46%（2013年度比） ※ 2021年4月、50%の高みに向け、 挑戦をつづけていく旨と併せて表明	排出実質ゼロ
EU	▲55%以上（1990年比）	排出実質ゼロ
英国	▲68%以上（1990年比）	排出実質ゼロ
カナダ	▲40～45%（2005年比）	排出実質ゼロ
中国	2030年までに排出量を 削減に転じさせる	2060年 排出実質ゼロ

出典：国土交通省HP「国土交通白書 2022」1 脱炭素社会に向けた動向



出典：国土交通省HP「運輸部門における二酸化炭素排出量」(2020)

EVは本当に環境に優しい？LCAの観点から解説

自動車産業はCO₂排出量が多く、環境負荷低減のためにEV化が強く求められています。
しかし、評価方法によってはEVでもCO₂排出量ゼロとは言えず、疑問の声も上がっています。
そこでLCA（ライフサイクルアセスメント）の視点から、EVの真の環境負荷を考える必要があります。

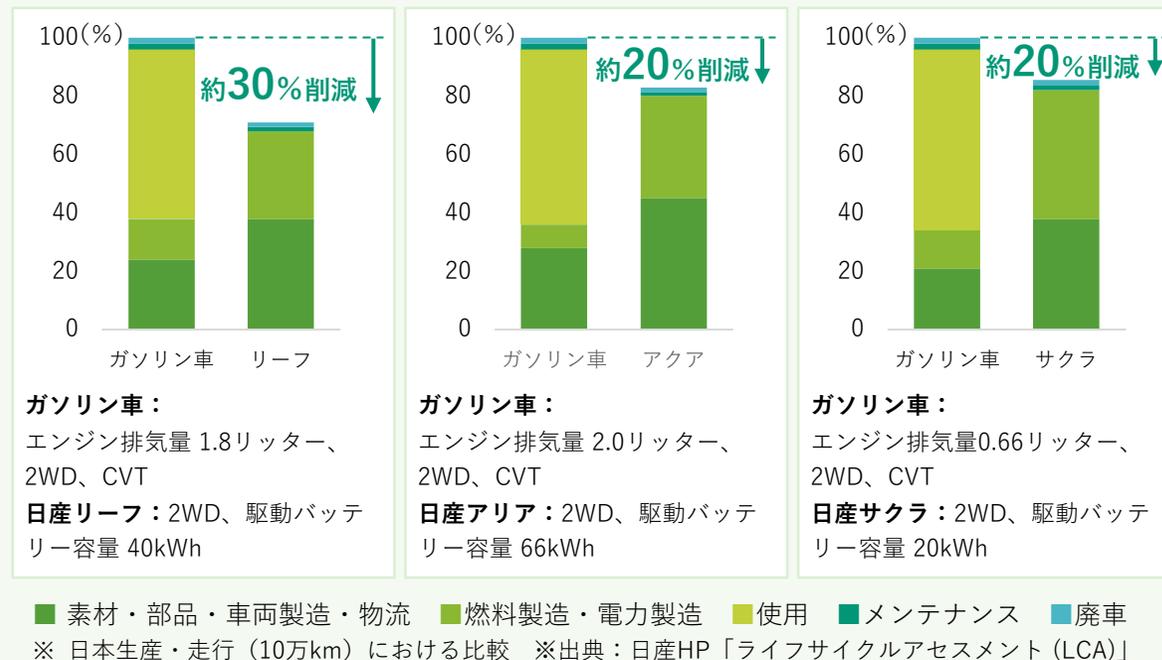
LCA（ライフサイクルアセスメント）とは

- EVの真の環境影響を考慮、持続可能なモビリティを実現するうえで欠かせない評価
- 環境に与える影響を最小化するためには、製品のライフサイクル全体を通じたCO₂排出量を幅広く評価することが重要

主なCO₂排出量の評価方法

評価方法	特徴
Tank to Wheel	走行時の直接排出量のみ算定 ※ EVは排出量ゼロ
Well to Wheel	発電～走行まで含む排出量算定 ※ 電源種別で結果が変動
Life Cycle Assessment (LCA)	原料調達～製造～使用～廃棄・リサイクル全工程を対象に排出量を算定

エンジン車とEVのLCA比較例



▶ EVはLCAでもエンジン車よりCO₂排出量が少ない！

企業の脱炭素化への取り組みとしてEVの導入を検討したい。

しかし、コストや導入方法が複雑で、どこから始めればよいか分からないという声をよく聞きます。

特に、導入にかかる初期費用やランニングコスト、充電インフラの整備が不安で、踏み切れない方も多いのではないのでしょうか。

EV導入に関して、こんなお悩みありませんか？

電気料金

EVの充電により、電気使用量が増加し、結果的に電気代が高くなるのではないかと

コストメリット

初期投資や充電コストの長期的な影響がわかりにくく、導入に踏み切れない

充電器・設備構築

急速充電器が良いのか
どこで買えるのか
コストを抑えて設備を構築するにはどうすれば良いのか



EV導入の悩みを解決するための最適なサポート

EV導入に関するお悩みが解消できるサービスや企業は多数存在します。

しかし選択肢が多すぎて選択には専門知識が必要となり、手間や時間がかかることもあります。

そこで専門的な知識を持ったサポートを活用することで、最適な選択肢を見つけ、スムーズに導入を進めることができます。

よくあるお悩みの解決策

お悩み 電気代が高くなるのでは？

解決策 電気料金を抑制

- スマート充電を利用することで電気料金の上昇を抑制
- 設備の規模やEV導入台数に合った最適な電力プランを案内

お悩み コストメリットはあるのか？

解決策 トータルコストの試算

- ガソリン車と違い充電器の設置が必要となるため、どのような充電器を用い、どのような設備構成にすれば導入・運用コストが最適化できるか、トータルコストで評価

お悩み 充電器・設備構築は？

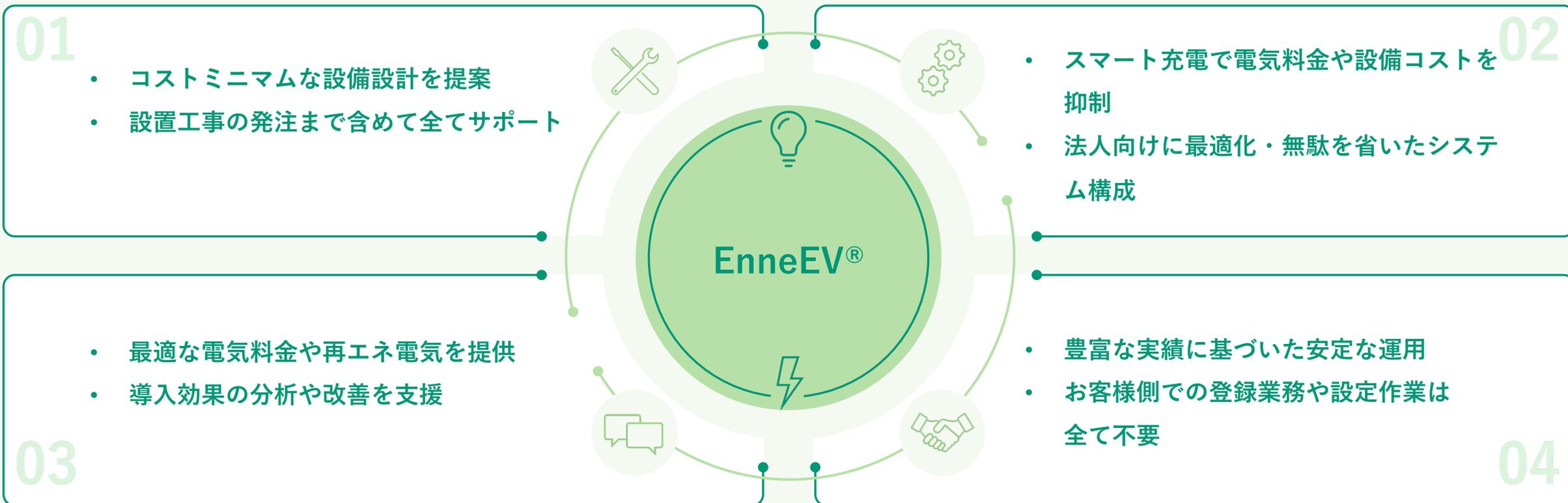
解決策 導入コンサルティング・支援

- 面倒な充電器の購入や設置工事の手配をお客様に代わり実施
- メーカーや工事会社ではできない電力契約や設備構成を考慮した設計を実施し、工事会社に指示

エネットは電力会社である知見を活かし、これらをすべてサポート可能

『EnneEV®』は、企業・自治体のEV導入を支援するサービスです。
電力会社としての豊富な実績と専門知識を活かし、導入から運用までをトータルでサポート。
お客様のコスト削減と効率的なEV運用を実現します。

電気で走るEVだからこそ、電気のプロにお任せください



特長01：コストミニマムな設備設計と構築支援

エネットは、コストミニマムな設備設計から設置工事の発注まで、一貫してサポートいたします。EV導入台数や充電ニーズに応じて、施設規模や電力使用状況を踏まえた最適なプランをご提案。充電器の手配から設置工事までワンストップで対応し、スムーズなEV導入を実現します。

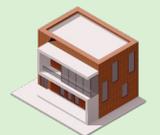
拠点ごとに最適なEV導入を実現

一例) ○○グループ会社



【拠点A】 関東 大型オフィスビル

- 電力設備は高圧で深夜は低需要
- EV導入台数は少なめ



【拠点B】 関東（郊外） ルート営業拠点

- 電力設備は低圧で深夜まで高需要
- EV導入台数は多め



【拠点C】 東北 店舗

- 電力設備は低圧で夜間は低需要
- EV導入台数は多め



イニシャル・ランニングコストを
試算し、最適解を提示
※コンサルティングは無料

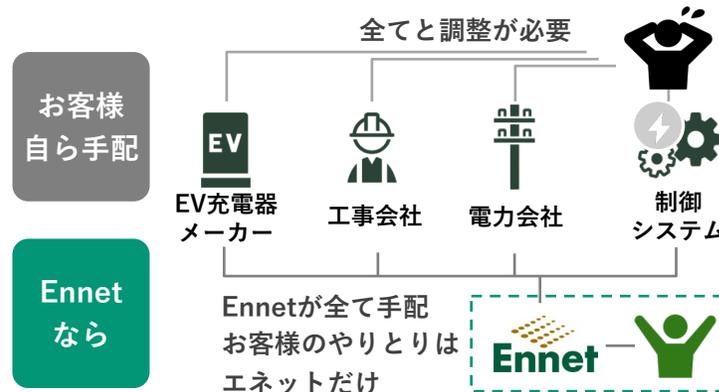
スマート充電の可否

設備増設の可否

契約電力や電力使用状況 など

充電器や設置工事の手配も全てお任せ

- 充電器から工事会社、電力会社、制御システムの選定など充電器設置に関わる全ての手続きを支援
- お支払いは毎月の電気料金と合算が可能



特長02：スマート充電による電気料金や設備コストの抑制

スマート充電により、電気料金の増額要因となる契約電力や設備増強コストを削減します。
 エネットのスマート充電システムは法人向けに最適化、専用端末や特別なネットワークを設置することなく構築が可能です。
 国際標準「OCPP」を国内でいち早く実用化し、システム改修費や運用コストの増大を防ぎます。

EVスマート充電

- 時間制御×電流値制御で指定した時間に指定した出力で充電することが可能

低圧50kW施設に6kW充電器を10台導入する場合



法人向けに最適化

- 法人向けに最適化されたシステム構成で無駄を省き、導入コストを抑制
- トラブル発生時の対処も容易

他社のスマート充電システム

- 専用端末の設置や有線による独自のネットワーク環境構築が必要なケースもあり
- コスト増になるばかりでなく、トラブル発生時の原因究明が複雑になる

エネットのスマート充電システム

- 専用端末の設置や有線によるネットワーク環境構築は一切不要

OCPP採用によるコスト抑制

- 国際標準OCPP※は、商業利用を前提に世界中の専門家によって開発・改良が重ねられた信頼性の高い充電制御・認証等の専門規格
 ※ Open Charge Point Protocol

OCPPを用いない場合

- 独自ルールを定める必要あり
- 成熟度が低いため想定外のトラブルが多発
- システム改修や設定変更のコストが増大

エネットのスマート充電システム

- 独自ルールがなく、成熟された規格のため、安定的な運用が可能
- 拡張性や柔軟性が高く、システム改修や設定変更の費用を必要としない

特長03：最適な電気料金や再エネ電気のご提案

夜間に充電をシフトした場合の割引料金（低圧別受電限定）や、再生可能エネルギー由来の電気「EnneGreen」の提供も可能。さらに、電気見える化「InfoEnnet」や省エネ診断ツール「Enneteye」の利用もでき、導入効果の分析や可視化が可能。ご使用する電気のことまでサポートいたします。

スマート充電システムと構築支援だけではない、電力会社ならではの総合的なサポート

夜間割引料金の提供

課題

昼間の電力需要ピーク時に複数台のEVを充電すると、地域の電力需要が増加、将来的に電力インフラの増強が必要となり電気料金の上昇につながる可能性がある

取組

上記課題の解決に向け、エネットは夜間充電を推進するため、夜間割引料金をご提供

メリット

社会貢献につながり、電力料金の割引も受けられるため、一石二鳥のメリット

再生可能エネルギー由来の電気も選択可

企業・自治体施設の電力を「EnneGreen」に切り替えることで、充電する電気の排出量をゼロにすることが可能

「EnneGreen」は
電気と非化石証書の組み合わせで、
お客さまの再生可能エネルギー導入や
CO2排出量削減をご支援



導入効果の分析、改善提案

電気見える化「InfoEnnet」やAIによる省エネサポート「Enneteye」などで導入効果を分析・可視化



改善施策も提案

特長04：豊富な実績と安定運用

国内における法人向けのスマート充電サービスとしては、最大規模の導入・運用実績があります。

「制御できずにブレーカーを飛ばしてしまった」、「サービスを停止した」などの大きな事故は一度もありません。

他社のシステムでは車両情報や充電計画の登録作業があったり、現地端末の設定が必要な場合もありますが、EnneEVでは一切不要です。

安定運用 + 手間いらずで運用コストを更に低減

全国に約310拠点1,700台以上導入済

※ 2025年9月末時点



▲ 別受電方式

安心が続く、重大事故ゼロのシステム

制御できず
設備容量を超えて
ブレーカーが飛んだ…



システムトラブルで
サービス停止した…



などの、事故**ゼロ**

現場は手間ナシ！スマート充電の新常識

他社システム

現地車両管理担当者が
・ 車両情報 ・ 充電計画 など
様々な登録作業をすることに…



ガソリン車なら、
今までなかったのに

EnneEV

- ・ お客様側での登録作業は一切なし
- ・ 帰ってきたら車両に充電器を挿すだけ

あとは自動で



- ✓ 充電開始
- ✓ 出力調整

NTT東日本様は2030年までに一般車両の100%EV化を目指し、稼働率の低い車両の整理やEV導入を推進。
課題として導入コストや運用面の負担がありました。スマート充電を活用、設備増強コストを抑えながら温室効果ガス削減を実現しました。

NTT東日本様

背景

2030年までに一般車両の100%EV化を目指し、稼働率の低い車両を廃止しながら順次EVへ移行



課題

- ガソリン車からEVへの移行に伴う充電インフラの整備負担
- 充電設備や電力設備の増強コストが高額になる恐れ
- 事業活動への影響を最小限に抑えながらEV化を進める必要あり



取り組み

1 温室効果ガス削減と安全性能の向上

- EV導入により走行時の温室効果ガスゼロを実現
- 使用する電気も再生可能エネルギー100%の電力「EnneGreen」を活用
- 最新EVの安全機能により社員の運転リスクを軽減

2 スマート充電の導入でEV導入コストを最適化

- 導入計画と構築支援はエネットの知見を活用
- 充電制御により電気料金の上昇を抑制
- 低圧別受電も活用し、設備増強コストを抑えながらも大量のEV導入が可能に
- 充電器管理の手間を軽減し、運用負担を最小限に



効果

- ▶ ガソリン車からEVへの移行は社員の環境意識向上に貢献。脱炭素化の推進加速に寄与
- ▶ 構築支援とスマート充電の活用により、限られた予算・リソース内でのEV導入を実現
- ▶ 安定した運用実績を基に導入台数の増加も問題なし

お問い合わせから運用開始までの流れについてご案内します。

お客様に最適なEV充電設備導入をサポートし、スムーズに運用が開始できるよう、段階的な手順でお手伝いします。

必要な手続きから工事、運用後の管理まで、一貫して対応いたします。



1 お問い合わせ

- お問い合わせフォーム、もしくはお電話でお気軽にお問い合わせください。



2 ご説明・コンサルティング

- 電気使用パターンの分析
- 充電計画の作成
- 最適な運用提案と費用シミュレーション



3 導入準備・お見積り

- 現地調査を実施
- お見積り提出
- 充電器手配や設置工事のサポート



4 ご契約

- 契約書案をご提示
- 双方合意の上、契約締結



5 工事

- 充電器設置工事の実施
- リース提供が標準、購入希望にも対応可能



6 運用開始

- 充電器の利用状況を一元管理
- 設定や管理は不要



EVの導入についてよくあるギモンをQ&A方式でご紹介します。
詳しい内容については、お気軽にご相談ください。

Q.

充電器だけの設置を
お願いできますか

スマート充電がメインのサービスであり、充電器設置はお客様の環境構築支援の一環です。
そのため、設置のみのご依頼はお受けしておりません。

A.

Q.

1台だけでも導入する
メリットはありますか？

お客様の電力契約の内容、充電器設置方法、走行距離などの条件を詳しくお伺いし、試算を行った上で最適なお提案をいたします。
メリットがない場合は無理に導入をおすすめすることはありませんので、ご安心ください。

A.

Q.

電力契約とセットで
申し込まなければいけませんか？

エネットの電気をご契約いただくのが原則ですが、複数拠点をお持ちの場合や低圧別受電などのケースでは、柔軟に対応可能です。
ぜひお気軽にご相談ください。

A.



まずはお気軽にお問い合わせください！

EV導入や運用に関するお問合せ・ご相談はお気軽にご連絡ください。

ご相談・お問合せ >

「EV Start Biz」では、NTTグループの社用車EV化の取り組みや、企業のEV導入を支援する情報を発信しています。EV導入のヒントや最新情報をぜひご覧ください。

QRコードは
コチラ ▶



<https://www.nttev.com/>